

学校だより

友 愛



令和4年度 No.2
川越市立福原小学校
令和4年4月28日

【学校教育目標】・かしこく・やさしく・たくましく
「良き伝統の中に流れる「友愛」の絆を大切にしたい
心広く大らかな児童の育成」

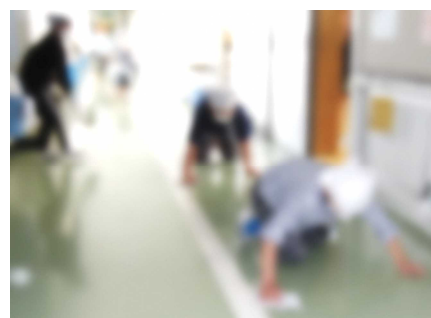
◎5月の生活目標
・時間を守ろう

未来に向けて着実に「生きる力」を身に付けていけるように！

校長 三上 正明

さわやかな初夏の風を受け、新緑がまぶしい季節となりました。4月に入学した1年生も、一つ上の学年に進級した2年生から6年生の児童たちもすっかり学校の生活時間とそれぞれの学年の学校生活に慣れてきたようです。教室や校庭などあちらこちらから子どもたちの元気な声が聞こえてきます。子どもたちの笑顔と明るく元気な声はやっぱりいちばんいいものです。明日からはゴールデンウィーク期間に入ります。できる限り規則正しい生活を心がけ、連休明けには学校の生活時間に早く体を慣らして、もとの生活リズムを取り戻して欲しいと思います。

さて、始業式・入学式では本校の学校教育目標の「かしこく やさしく たくましく」について話しました。『かしこく』なるためには、先生やお友達の話をしっかり聞いて学び、自分の頭でよく考えること。『やさしく』するためには、「あいさつ」や「ありがとう」の言葉などを使って、互いに認め合える人間関係を築くこと。『たくましく』なるためには、ご飯をしっかり食べて、たくさん運動すること。早速、この1ヶ月の間にも「おはよう」と元気なあいさつを交わしてクラスの中で友人関係を築き始めていますし、担任の先生の話真剣に聞きながら授業に取り組む様子や給食を残さず食べて業間や昼休みには外で元気に遊ぶ姿をたくさん見ることができました。また、生活の場をきれいにしようと一生懸命に掃除する児童の取組に感心しました。



「学校をきれいにするぞ！」

この先、社会は加速度的に変化していくと言われていています。しかし、時代の変化という「流行」の中にあっても、子どもたちが力強く未来を切り拓いて生きていくための『生きる力』の基盤は、『知・徳・体の育成』という「不易」たるものの中で育まれると考えます。そして、本校の教育目標は、この『生きる力』の基盤を子どもたちの未来に向けて着実に身に付けさせることであると考えています。

コミュニティスクールである本校は、おかげさまで大変多くの保護者や地域の方々のご支援をいただきながら教育活動を進めることができています。日頃から様々な面でご支援・ご協力いただいていることにあらためて感謝申し上げます。本校といたしましては、ご支援・ご協力いただいている様々な取組を大切にしながら、それらの取組やそこに携わる方々とのふれあいを通して、保護者・地域とともに、子どもたちに『生きる力』を身に付けさせていきたいと考えております。これからも保護者・地域と共に歩む学校として、福原小学校の教育活動に対しまして、ご理解と温かいご支援を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

保護者会・懇談会 ご出席ありがとうございました

新型コロナウイルス感染拡大防止のため授業参観を実施することはできませんでしたが、進級、入学して初めての保護者会・懇談会にたくさんの保護者の皆様にご出席いただき、本当にありがとうございました。子どもたちも新しい気持ちでそれぞれスタートを切りました。お子様のよい言動や成長した点を日々認め励ましながら、ご家庭での親子の会話を増やしていただければ幸いです。

